

令和5(2023)年度新規拠点公募の内容について

令和5年2月9日

文部科学省 研究振興局 基礎・基盤研究課



文部科学省

MEXT

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

令和5年度・新規拠点公募の主なポイント

【新規拠点採択の方向性】

- ◆優れた研究人材が世界中から集う国際頭脳循環のハブとなる研究拠点の更なる強化が不可欠
- ◆日本の大学・研究機関全体を「公共財」と捉え、世界トップレベルの基礎科学の頭脳循環を10～20年先を見据えた視座から飛躍・発展させていくことが必要

【WPIミッションに沿った拠点形成】

引き続き、令和2年12月に決定された3つのミッションの実現に向けた優れた拠点構想を選定し、拠点形成に向けた取組を支援。

- ◆ **World-Leading Scientific Excellence and Recognition**
(世界を先導する卓越研究と国際的地位の確立)
- ◆ **Global Research Environment and System Reform**
(国際的な研究環境と組織改革)
- ◆ **Values for the Future**
(次代を先導する価値創造)

 **「WPI CORE」 2拠点もしくは「複数のホスト機関で提案するWPI」 1拠点を採択**

令和5年度・新規拠点公募の概要①

対象機関	<p>大学、大学共同利用機関法人、国立研究開発法人、公益法人</p> <p>既に採択されているホスト機関も申請可能。なお、既存拠点の運営に対するホスト機関のコミットメントや既存拠点との両立等について厳正に確認し、審査に反映。また、本プログラムの補助期間中にホスト機関が国際卓越研究大学に認定される場合、当該大学の国際卓越研究大学研究等体制強化計画に記載され助成の対象となる取組と本プログラムによる支援に重複が生じないように、重複する部分については本プログラムからの補助は行わない。</p>
採択件数 支援規模	<p>WPI CORE 2件、または複数のホスト機関で提案するWPI 1件</p> <p>WPI COREの場合、最大約5億円をステージゲート審査通過までの最長5年間補助。ステージゲート審査通過後は、最大約7億円を補助期間計10年間のうちの残りの期間について補助。</p> <p>複数のホスト機関で提案するWPIの場合、最大10億円を10年間補助。</p>
支援内容	<p>人件費・事業推進費・旅費・設備備品費等（研究プロジェクト費は除く）</p>
拠点構想の 主な要件	<p>対象研究領域</p> <p>基礎研究分野（基礎から応用への展開を目指す分野を含む）。</p> <p>原則として異分野を融合させ、日本発で先導する新しい学術領域の創出が期待される研究領域。</p> <p>人文・社会科学と自然科学との融合領域も対象とする。</p>

令和5年度・新規拠点公募の概要②

拠点構想の 主な要件

○拠点運営の主要プレイヤー等

- ・ 拠点長： 助成期間である**10年間にわたり研究をリード**することに加え、拠点の「顔」として、**拠点運営に専任として常に携わる**
- ・ 事務部門長： **拠点長を事務管理面で強力に補佐**、研究者が快適に研究できる環境を提供し続ける

・ 拠点を構成する研究者等

(WPI COREを提案する場合)

- － **世界トップレベルの研究者5～7人程度**あるいはそれ以上の主任研究者（教授、准教授）の集結
ステージゲート審査通過後は世界トップレベルの研究者7～10人程度以上の集結
- － 主任研究者のうち、海外から招へいする**外国人研究者の割合は2割程度以上**を目標
- － ポスドク、研究支援員、事務スタッフ等を含めた**総勢は採択当初の段階で50人程度以上**を目標
ステージゲート審査通過後は、総勢70～100人以上を目標

(複数のホスト機関でWPIを提案する場合)

- － **世界トップレベルの研究者10～15人程度**あるいはそれ以上の主任研究者（教授、准教授）の集結
- － 主任研究者のうち、海外から招へいする**外国人研究者の割合は2割程度以上**を目標
- － ポスドク、研究支援員、事務スタッフ等を含めた**総勢は150人以上**を目標

- － 研究者の**常に3割程度以上は外国人研究者** 等

令和5年度・新規拠点公募の概要③

<p>拠点構想の 主な要件</p>	<p>○環境整備</p> <ul style="list-style-type: none">・ <u>使用言語は英語</u>、英語による職務遂行が可能な事務スタッフ機能を整備 等 <p>○研究資金等の確保</p> <ul style="list-style-type: none">・ 拠点運営及び拠点での研究活動のため、本プログラムからの<u>支援額と同程度以上のリソースを確保</u> (リソースの具体例)<ul style="list-style-type: none">・ 当該拠点に参加する研究者が獲得する競争的資金等の研究費・ ホスト機関からの現物提供 等 <p>○海外機関との連携</p> <p>(WPI COREを提案する場合)</p> <ul style="list-style-type: none">・ 海外機関との拠点組織レベルでの研究連携体制の構築を目指すこと <p>(複数のホスト機関でWPIを提案する場合)</p> <ul style="list-style-type: none">・ 海外機関との拠点組織レベルでの研究連携体制を構築すること <p>例えば、複数の研究室の相互設置を行うことなど</p>
-----------------------	---

令和5年度・新規拠点公募の概要④

<p>拠点構想の 主な要件</p>	<p>○新ミッションで新たに追加された主な要件</p> <ul style="list-style-type: none">・ 基礎研究の社会的な意義や価値の共有 拠点の研究成果や内容に関する <u>社会的インパクトや研究意義・成果の価値を発信するための取組や体制整備の計画</u>を示すこと・ 次代の人材育成の実施 世界トップレベルの研究活動や研究環境等を通じた <u>人材育成に関する目標や計画</u>を示すこと。・ 自立化に向けた既存組織の再編と一体的な研究拠点構築 当該拠点が支援終了後に自立化するよう、本プログラムの支援による <u>整備と既存組織の再編とを一体的に進める</u>こと。
<p>ホスト機関 のコミット メント</p>	<p>○拠点が真に「世界トップレベル研究拠点」となり支援終了後に自立化するよう、支援期間中から機関を挙げて全面的な支援を行うこと。なお、複数のホスト機関でWPIを提案する場合、支援終了後も適切なアライアンス体制の下、一体的な拠点形成を継続すること。</p> <p>○申請の際に、以下のコミットメントを具体的に明示すること</p> <ul style="list-style-type: none">・ 既存組織の再編等を含む <u>基本方針の表明及び今後の具体的な計画・スケジュールの策定</u>・ 拠点の運営及び研究活動の実施のための必要な <u>人的、財政的及び制度的支援</u>・ 本プログラム <u>終了後も、拠点の自立化に必要な支援を行う</u>こと・ 拠点が達成した成果を自己評価し、<u>機関全体へ展開・波及</u>すること <p style="text-align: right;">等</p>

1. 人件費

(具体例)

- 招へいPI (Principal Investigator:主任研究者) の給与、住居手当、子女教育手当等
- ポスドクなど、優秀な若手研究者の支援に必要な経費
- 研究支援員、RA (Research Assistant)、事務スタッフ等の給与

2. 事業推進費

(具体例)

- スペースを確保するための経費
- 連携機関との共同研究の実施のために必要な経費
- 国際的な研究集会の開催等、アウトリーチ活動に係る経費
- 招へい研究者のスタートアップ研究費
- 必要な最先端設備の運用費 (光熱水費)

3. 旅費

(具体例)

- 研究者が研究集会等に出席する際の旅費・滞在費
- 研究者を招へいする際の旅費・滞在費

4. 設備備品費

(具体例)

- 必要な最先端設備の開発費、整備費

※研究プロジェクト費 (研究拠点で行われ、かつ、個々具体の研究開発課題に基づく研究プロジェクト事業を実施するために必要な経費) については、本事業の補助金からの支出は認められない。